

2017年3月期 第3四半期 決算補足資料

2017年1月30日
NECキャピタルソリューション株式会社

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

- 1) 連結決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要（連結）
- 4) 事業別収益（連結）
- 5) 事業別契約実行高の状況（連結）
- 6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）
- 7) ファイナンス事業の営業状況（連結）
- 8) リサ事業の営業状況（営業利益）
- 9) 営業資産残高の状況（連結）
- 10) 資金調達の状況（連結）
- 11) 与信関連費用（連結）

2. 2017年3月期計画

- 1) 連結業績予想

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は前年同期比減少
- ・資金調達環境は良好な状態を維持
- ・倒産状況については、件数は低水準で推移 負債総額について前年同期比増

【営業実績】

- ・賃貸・割賦事業における契約実行高・成約高共に前年同期比減少となる
- ・ファイナンス事業については前年同期比増加

＜賃貸・割賦事業＞ ※括弧内は単独ベース

契約実行高： **22.0%減（22.9%減）** 成約高： **7.5%減（8.2%減）**

＜ファイナンス事業＞

契約実行高： **16.5%増（26.5%増）** 成約高： **15.5%増（25.3%増）**

【経営成績】

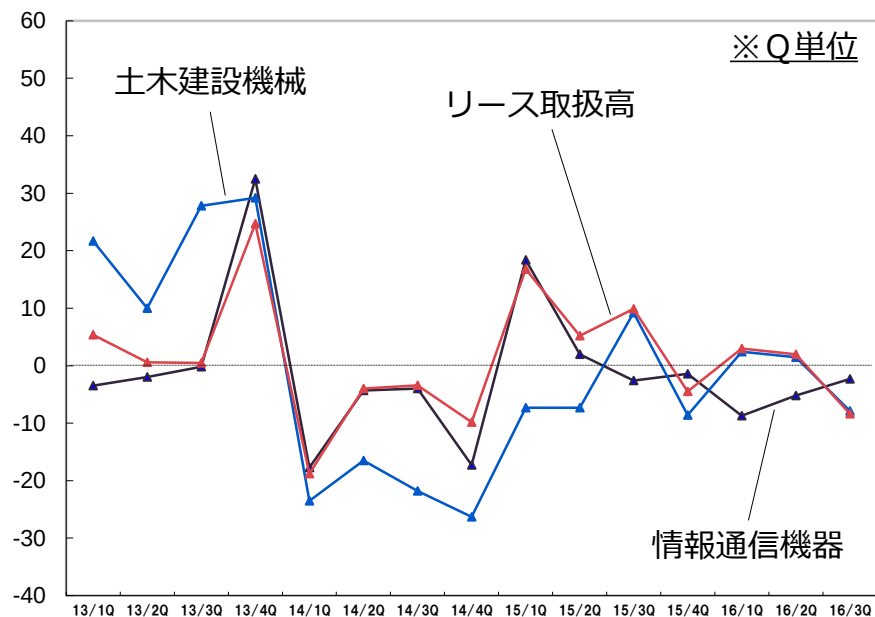
- ・リサ事業における売上総利益増加等により、営業利益、経常利益は増益
- ・当期純利益については売上総利益は増加したものの、販管費の増加や為替差損計上等の影響により減益
- ・なお、3Q単独の減益要因は為替差損の影響によるもの

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

2) 事業環境

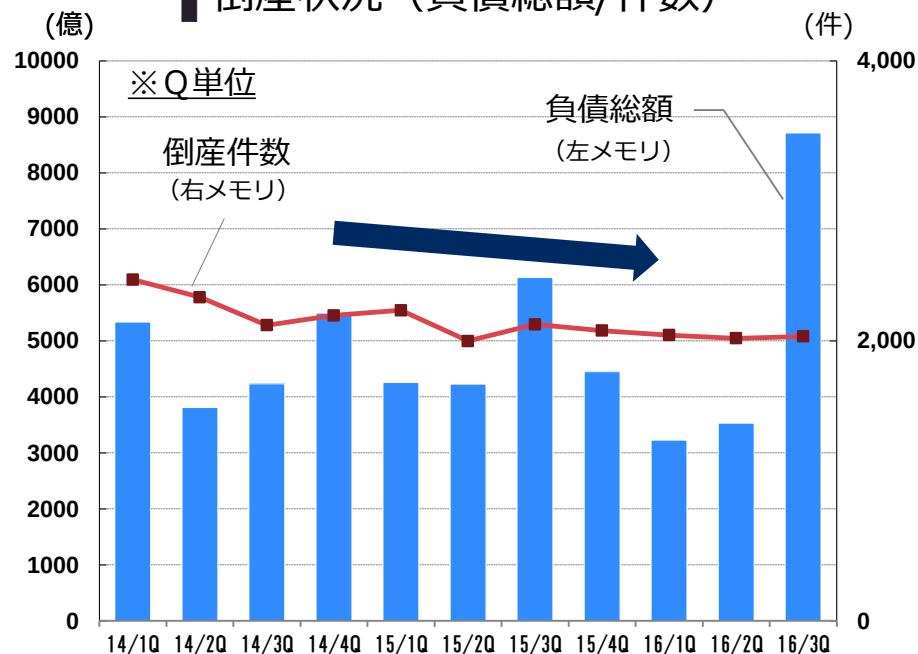
- リース取扱高：当社の主力である情報通信機器は前年同期比累計**4.2%**の減少
業界全体のリース取扱高については前年同期比累計**1.6%**の減少
- 倒産状況：当第3四半期における倒産件数については低水準で推移
負債総額については大型倒産が発生したことで前年同期比増加となる

リース取扱高動向（四半期単位前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計）

倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

3) 業績概要（連結）

- ・ 売上高 : 前年同期に販売用不動産関連の売却があったリサ事業の減収により前年同期比**4.4%**の減少
- ・ 経常利益 : その他収益（太陽光事業等）及び、リサ事業における売上総利益の増加により前年同期比**1.7%**の増加
- ・ 自己資本比率 : 9.6%（15/12末）→9.5%（16/12末）

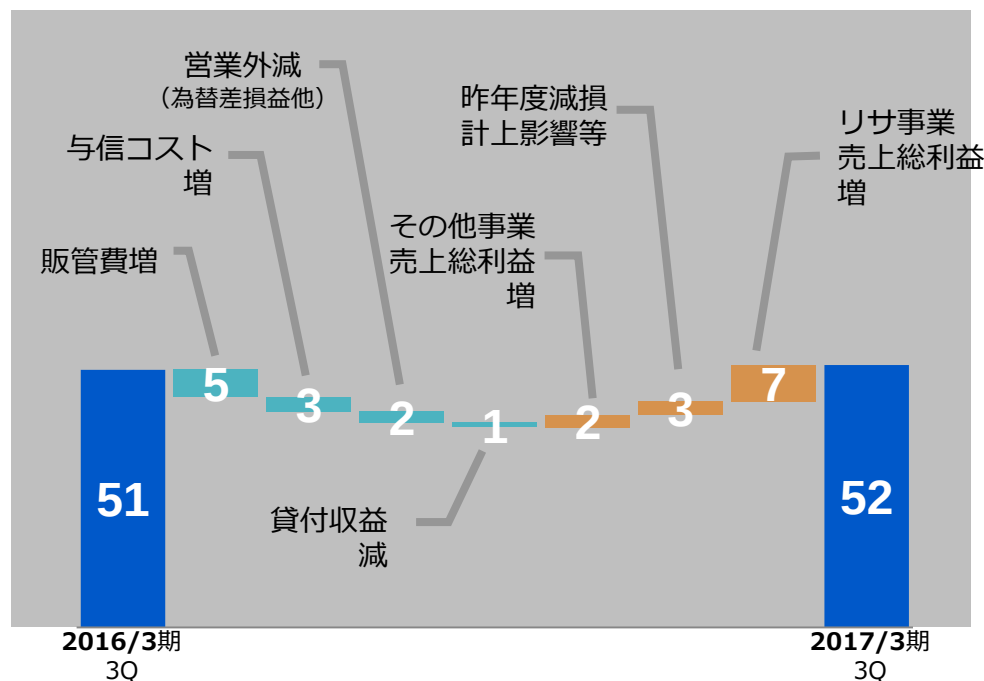
業績数値

（単位：億円）

	2016/3期 3Q	2017/3期 3Q	前年同期比
売上高	1,536	1,469	▲4.4%
営業利益	48	51	6.5%
経常利益	51	52	1.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	35	26	▲23.7%
1株当たり四半期純利益	161円06銭	122円95銭	—
営業資産残高	7,202	7,475	3.8%
純資産	1,023	1,068	4.4%
自己資本	765	779	1.8%
自己資本比率（%）	9.6	9.5	▲0.3
1株当たり配当金（円）	22	22	—

経常利益前年同期比主要増減要因

（単位：億円）



1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

4) 事業別収益（連結）

■ 事業別収益

（単位：億円）

		2016/3期	2017/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
貸貸・ 割賦事業	売上高	1,236	1,259	1.9%
	売上総利益	84	88	4.9%
	営業利益	33	29	▲10.8%
ファイナンス 事業	売上高	37	36	▲2.9%
	売上総利益	29	28	▲5.4%
	営業利益	16	17	4.2%
リサ 事業	売上高	132	78	▲41.1%
	売上総利益	33	41	22.1%
	営業利益	9	15	66.3%
その他の 事業	売上高	131	97	▲26.5%
	売上総利益	18	20	8.8%
	営業利益	2	2	32.5%
計	売上高	1,536	1,469	▲4.4%
	売上総利益	164	175	7.0%
	営業利益	48	51	6.5%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<貸貸・割賦事業>>

- 売上高は前年同期比**1.9%**増
営業利益については、貸倒引当金繰入額の計上等により、前年同期比**10.8%**減

<<ファイナンス事業>>

- 売上高は前年同期比**2.9%**減
営業利益については、貸倒引当金戻入額の計上等により、前年同期比**4.2%**増

<<リサ事業>>

- 売上高は前年同期に販売用不動産の売却があったこと等により前年同期比**41.1%**減
営業利益については、営業投資有価証券の売却益等により前年同期比**66.3%**増

<<その他の事業>>

- 売上高は、前年同期にヘルスケア関連の販売用不動産の売却があったことから、前年同期比**26.5%**減
営業利益については新事業領域における収益化が進んだこともあり前年度同期比**32.5%**増

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

5) 事業別契約実行高の状況（連結）

事業別契約実行高

（単位：億円）

	2016/3期 3Q	2017/3期 3Q	前年同期比
賃貸・割賦事業	1,004	784	▲22.0%
賃貸事業	943	755	▲20.0%
割賦販売	61	29	▲52.6%
ファイナンス事業	2,430	2,831	16.5%
営業貸付金	1,708	2,165	26.7%
一括ファクタリング	722	666	▲7.7%
その他の事業	33	33	▲1.6%
計	3,468	3,648	5.2%

事業別成約高

（単位：億円）

	2016/3期 3Q	2017/3期 3Q	前年同期比
賃貸・割賦事業	1,258	1,163	▲7.5%
賃貸事業	1,210	1,134	▲6.2%
割賦販売	48	29	▲40.1%
ファイナンス事業	2,445	2,823	15.5%
営業貸付金	1,723	2,157	25.2%
一括ファクタリング	722	666	▲7.7%
その他の事業	32	40	24.4%
計	3,735	4,026	7.8%

《契約実行高》

- ・ 賃貸・割賦事業については、官公庁領域の立ち上がり遅れ、及び民需領域における前年大型案件計上影響等により前年同期比減少となっている。一方で、ファイナンス案件の取組みや海外事業の伸長でファイナンス事業が前年同期比増加となり、全体では**5.2%**の増加となる

《成約高》

- ・ 賃貸・割賦事業については官公庁を中心に回復基調を維持するものの、民需領域において前年割れとなる

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2016/3期 3Q	2017/3期 3Q	前年同期比
官公庁	489	392	▲19.9%
民需	516	392	▲24.0%
サービス業	126	107	▲15.3%
流通業	131	105	▲19.9%
製造業	180	105	▲41.6%
その他	78	75	▲4.2%
計	1,004	784	▲22.0%

業種別成約高

（単位：億円）

	2016/3期 3Q	2017/3期 3Q	前年同期比
官公庁	750	746	▲0.4%
民需	508	417	▲18.0%
サービス業	123	107	▲13.2%
流通業	134	127	▲5.4%
製造業	147	104	▲29.3%
その他	104	79	▲24.0%
計	1,258	1,163	▲7.5%

（参考）機種別賃貸事業契約実行高

（単位：億円）

	2016/3期 3Q	2017/3期 3Q	前年同期比
情報通信機器	718	541	▲24.7%
電子計算機及び関連装置	327	240	▲26.6%
ソフトウェア	376	283	▲24.7%
通信機器及び関連装置	15	18	17.3%
事務用機器	28	39	36.7%
その他機器	258	204	▲20.8%
計	1,004	784	▲22.0%

- 業種別の契約実行高は、官公庁領域の立ち上がり遅れ及び、民需領域における前年大型案件計上影響等もあり、前年同期比減少
全体では、前年同期比**22.0%**減
- 成約高については、官公庁は前年並みまで復調するも、民需領域での落ち込みが影響し、前年同期比減少
全体では、前年同期比**7.5%**減

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

7) ファイナンス事業の営業状況（連結）

■ 契約形態別契約実行高

（単位：億円）

		2016/3期	2017/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
	立替・APF・割賦バック	79	81	2.9%
	個別ファクタリング	895	1,295	44.7%
	企業融資	635	731	15.1%
	その他	99	58	▲41.4%
計		1,708	2,165	26.7%

■ 業種別契約実行高

（単位：億円）

		2016/3期	2017/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
官公庁		6	1	▲77.4%
民需		1,702	2,164	27.1%
	サービス業	125	162	29.4%
	流通業	95	131	37.9%
	製造業	1,016	1,390	36.9%
	金融業・保険業	152	121	▲20.6%
	不動産業	86	192	122.4%
	その他	228	168	▲26.3%
計		1,708	2,165	26.7%

- ・ 契約形態別の契約実行高については、企業融資と個別ファクタリングが前年同期比増加
また海外事業の実績も寄与し、ファイナンス事業全体では前年同期比**26.7%**増加
- ・ 業種別では、製造業及び不動産業他で前年同期比増加となり、民需全体で**27.1%**増加

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

8) リサ事業の営業状況（営業利益）

（単位：億円）

		2016/3期 3Q	2017/3期 3Q	前年 同期比
アセットビジネス	売上高	71	44	▲37.6%
	売上総利益	22	36	65.0%
	営業利益	13	25	96.4%
不動産	売上高	57	28	▲49.8%
	売上総利益	8	1	▲93.6%
	営業利益	5	▲2	-
アドバイザリー	売上高	4	5	14.4%
	売上総利益	4	5	16.8%
	営業利益	▲0	1	-
のれん・連結調整	売上高	0	▲0	-
	売上総利益	▲1	▲1	-
	営業利益	▲8	▲8	-
連結ベース 計	売上高	132	78	▲41.1%
	売上総利益	33	41	22.1%
	営業利益	9	15	66.3%

売上高は減収となるも 営業利益は前年同期比大幅増益

<<アセットビジネス>>

- ・ 営業投資有価証券の売却による収益等により増益

<<不動産>>

- ・ 不動産売却益の減少により減収・減益

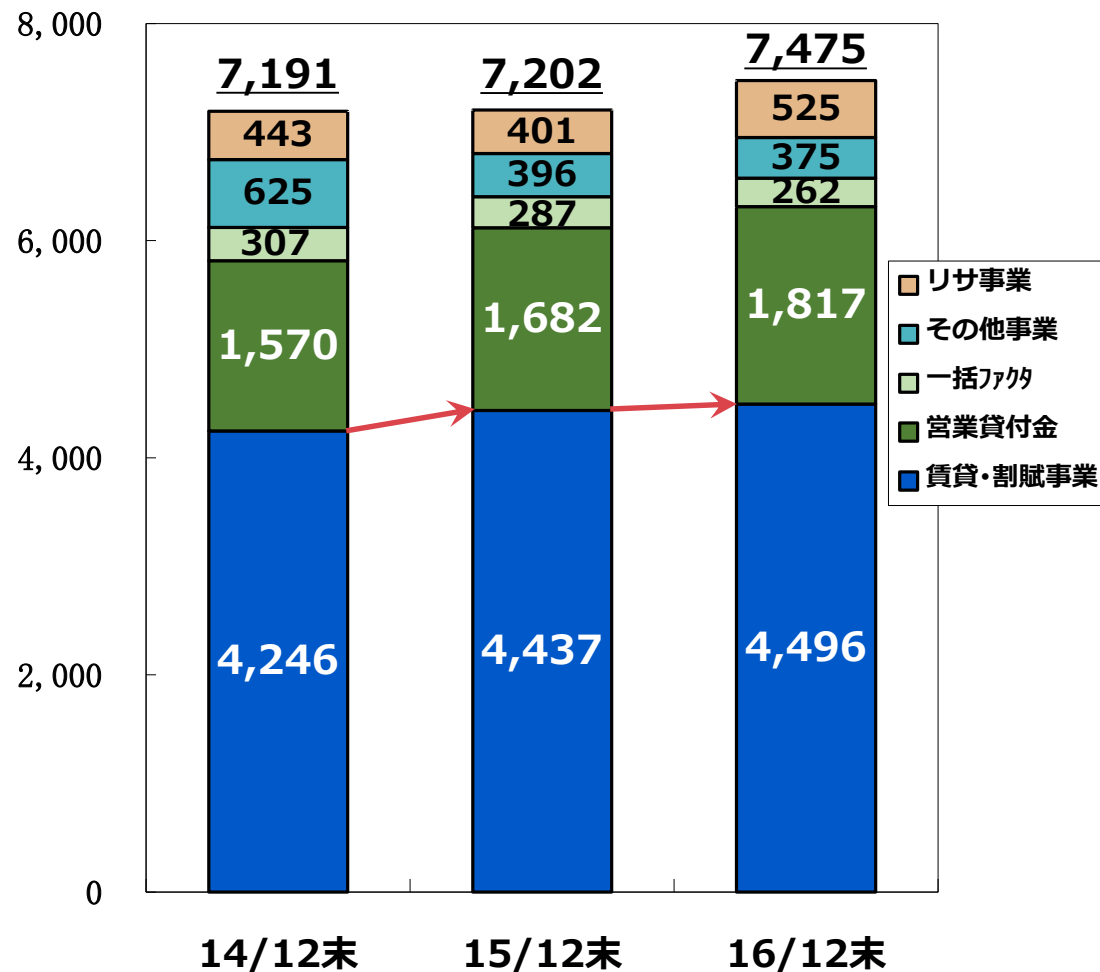
<<アドバイザリー>>

- ・ M & A 関連の手数料収入が増えたことにより増収・増益

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

9) 営業資産残高の状況（連結）

（単位：億円）



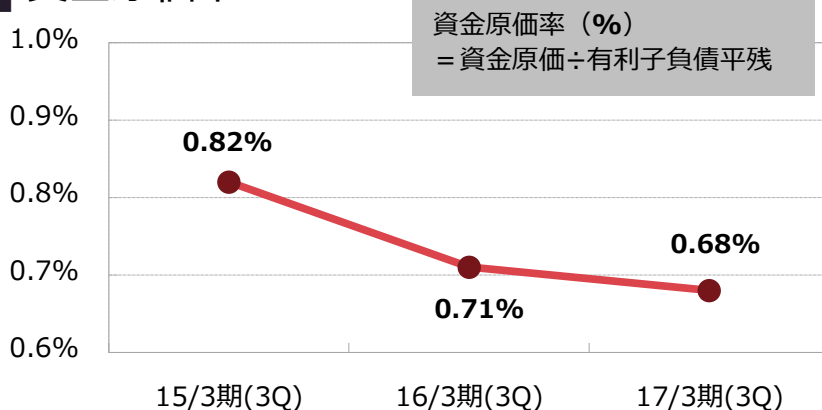
<<営業資産残高>>

- ・ 貸貸・割賦事業の残高は、前年同期末比**59億円**の増加
- ・ 営業貸付金の残高は、前年同期末比**135億円**の増加
⇒グローバル事業展開に伴い外貨建融資残高が増加
- ・ リサ事業の残高は、前年同期末比**124億円**の増加
⇒ファンドビジネスの進捗により増加

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

10) 資金調達状況（連結）

資金原価率

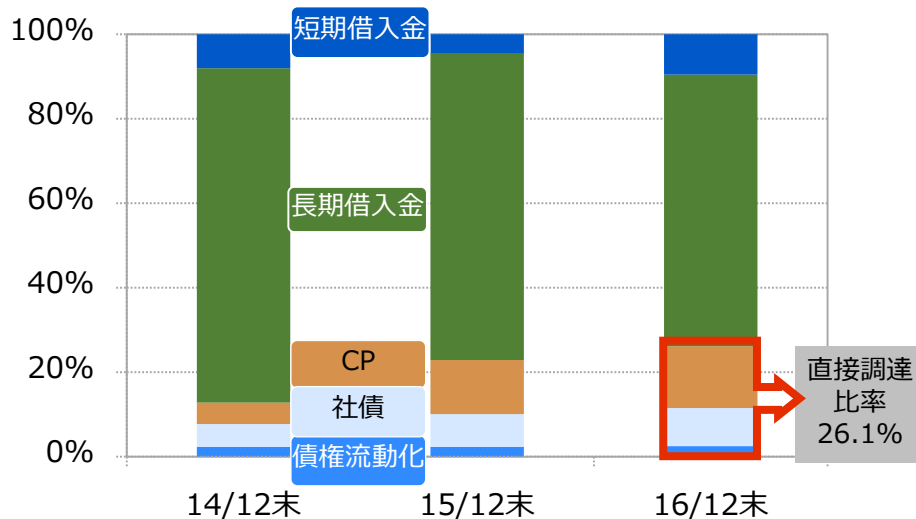


有利子負債残高

(単位：億円)

	2016/3期		2017/3期		増減
	3Q末	構成比	3Q末	構成比	
短期借入金	302	4.7%	633	9.5%	331
長期借入金	4,697	72.5%	4,268	64.3%	▲428
CP	830	12.8%	970	14.6%	140
社債	500	7.7%	600	9.0%	100
債権流動化	152	2.3%	164	2.5%	11
計	6,481	100.0%	6,635	100.0%	154

有利子負債構成比

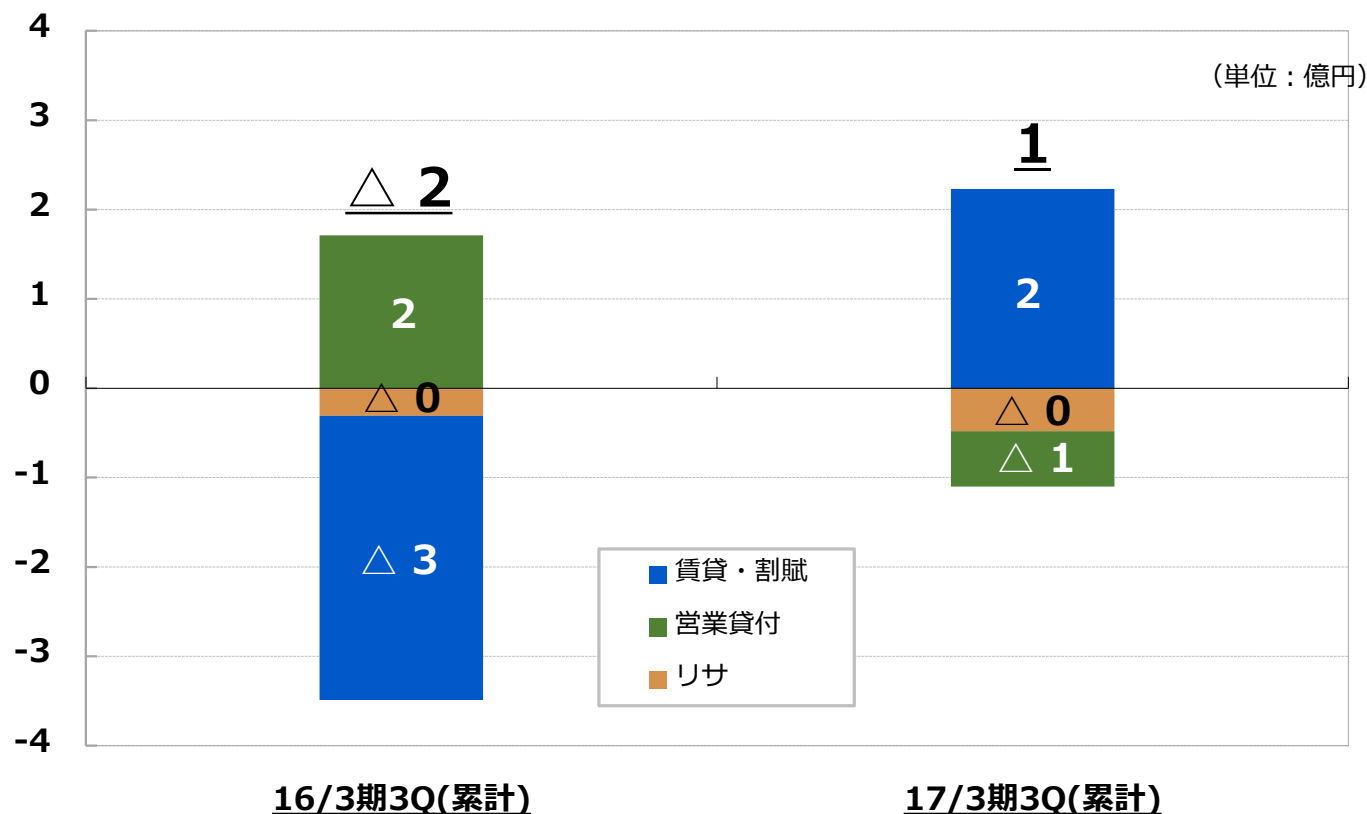


- ・ 資金原価率は**0.68%**と前年同期比**0.04ポイント**減
⇒ 長期借入のCPシフト、調達スプレッドの削減等、各種施策により減少
- ・ 直接調達比率は上昇
(2015/12末 **22.9%** → 2016/12末 **26.1%**)
⇒ CP残高増加により上昇

1. 2017年3月期 第3四半期実績報告

11) 与信関連費用（連結）

・ 与信関連費用は、前年同期比**3億円**の悪化



2. 2017年3月期計画

2. 2017年3月期計画

1) 連結業績予想

■ 連結業績予想

(単位：億円)

	実績		予想
	2016/3期 通期	2017/3期 第3四半期	2017/3期 通期
売上高	2,026	1,469	2,050
営業利益	49	51	60
経常利益	60	52	60
親会社株主に帰属する純利益	33	26	35
1株当たり純利益（円）	154円85銭	122円95銭	162円54銭

■ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2017/3期予想	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2016/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC